

1. 取扱高

令和7年1月 から 12月まで【開市日数249日】

数量： 92,921 t

金額： 25,740,572 千円

令和 8年 3月 26日 (木)

八戸市中央卸売市場運営協議会

2. 月別取扱高

区分	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 (1月～12月)	前年取扱高 (1月～12月)
野菜	数量 (t)	3,868	4,293	5,489	5,742	5,268	7,310	8,877	7,177	8,109	10,993	8,029	5,928	81,083	83,733
	前年比 (%)	91.4%	85.2%	96.5%	98.3%	103.3%	97.6%	95.9%	100.5%	107.4%	92.3%	87.9%	110.7%	96.8%	
	金額 (千円)	1,545,186	1,683,605	1,929,603	1,782,046	1,375,697	1,432,862	1,821,713	1,692,469	1,863,853	2,231,121	1,967,785	1,861,659	21,187,599	19,969,205
	前年比 (%)	139.0%	124.4%	119.9%	117.4%	100.0%	110.8%	102.4%	103.3%	102.5%	96.1%	90.3%	94.5%	106.1%	
果実	数量 (t)	884	926	818	838	670	547	651	1,018	811	1,269	1,598	1,560	11,590	11,977
	前年比 (%)	88.0%	87.0%	81.9%	98.2%	84.1%	86.8%	94.2%	90.8%	86.6%	113.2%	108.7%	120.9%	96.8%	
	金額 (千円)	368,361	373,755	359,746	340,092	278,216	240,524	347,836	376,330	276,035	402,508	515,816	522,365	4,401,584	4,431,448
	前年比 (%)	112.7%	104.4%	100.3%	100.7%	89.7%	80.9%	112.4%	89.4%	89.6%	104.6%	99.6%	104.2%	99.3%	
その他 (野菜・果実 加工品、鳥 卵、その他)	数量 (t)	21	20	30	20	26	20	18	12	12	18	20	31	248	282
	前年比 (%)	91.3%	71.4%	71.4%	76.9%	86.7%	125.0%	112.5%	85.7%	100.0%	90.0%	87.0%	96.9%	87.9%	
	金額 (千円)	14,013	15,227	15,227	10,359	12,356	9,101	8,938	7,375	9,007	10,436	11,183	28,167	151,389	154,512
	前年比 (%)	97.2%	87.5%	96.2%	79.4%	102.6%	131.4%	130.3%	79.7%	127.4%	108.3%	84.2%	98.0%	98.0%	
合計	数量 (t)	4,773	5,239	6,337	6,600	5,964	7,877	9,546	8,207	8,932	12,280	9,647	7,519	92,921	95,992
	前年比 (%)	90.7%	85.5%	94.1%	98.2%	100.6%	96.9%	95.8%	99.2%	105.1%	94.1%	90.8%	112.6%	96.8%	
	金額 (千円)	1,927,560	2,072,587	2,304,576	2,132,497	1,666,269	1,682,487	2,178,487	2,076,174	2,148,895	2,644,065	2,494,784	2,412,191	25,740,572	24,555,165
	前年比 (%)	132.7%	119.9%	116.2%	114.1%	98.2%	105.3%	104.0%	100.4%	100.7%	97.3%	92.0%	96.5%	104.8%	

3. 入荷及び価格の状況

〔野菜〕 野菜全体では、1月から12月までの前年比は取扱量で3.2%減、取扱金額で6.1%増となった。

1月のキャベツ、白菜、2月の人参など全国的な低温と干ばつの影響から入荷量が減少し高値となる品目が多くあった。3月から4月にごぼうの春掘りが始まり、太物中心であったが、平年の5割高となった。長いものはC品中心で前年の9割ほどの入荷量で、高値で推移した。7月から9月は猛暑による高温、干ばつや台風、前線の影響で全国的な天候不順により胡瓜、トマト、茄子、ピーマンなど多くの品目の生育に影響を及ぼした。にんにくはLM中心に需要が高く、高値で推移した。10月は北海道産の玉葱が夏場の高温、干ばつの影響で小玉傾向となり、入荷量が減少し高値で推移した。11月は寒気の影響でごぼうの掘り取り作業の遅れがみられ数量減となった。

〔果実〕 果実全体では、1月から12月までの前年比は取扱量で3.2%減、取扱金額は0.7%減となった。

1月から3月は県内品では苺とりんご、県外品ではみかん、ポンカンなどの柑橘類が主力の販売となったが、一昨年夏の高温、カメムシ等による被害から数量減の高値が続き荷動きは鈍化した。サンフジの中玉、小玉は堅調であった。4月から5月は県外産、県内産ともに引き続き苺が主力であった。6月は夜の気温が高かったため、さくらんぼの色付きが悪く入荷量が半減したが贈答用の引き合いが強まった。また、山形県産と重なったため県内での販売がメインとなった。8月は全般的に猛暑の影響が大きく、着色不良、品質低下等で多くの品目が数量減、単価安となった。9月はつがるりんごの着色不良が多く高値で推移した。10月は昨年と比べると、多くの品目で数量増加となり、相場は軟調に推移した。11月はサンふじ、王林、ぐんま名月が主力の販売となった。贈答用中心に上等品は例年より高値で推移した。

八戸市中央卸売市場 花き部 取扱高実績

資料 1

1. 取扱高

令和7年1月 から 12月まで【開市日数244日】

数量： 9,988 千本

金額： 1,004,006 千円

令和 8年 3月 26日 (木)

八戸市中央卸売市場運営協議会

2. 月別取扱高

区分	単位	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 (1月～12月)	前年取扱高 (1月～12月)
切花	数量(千本)	495	588	1,266	704	676	643	628	1,173	900	562	478	932	9,045	9,827
	前年比(%)	82.5%	87.9%	95.0%	91.0%	84.9%	99.5%	81.0%	99.0%	92.7%	94.9%	86.4%	99.9%	92.0%	
	金額(千円)	60,241	62,138	121,928	56,781	54,374	52,903	55,447	113,150	89,403	58,945	54,311	102,636	882,257	955,933
	前年比(%)	110.9%	101.6%	96.8%	87.3%	72.2%	103.0%	82.4%	93.4%	90.5%	93.0%	86.5%	93.8%	92.3%	
鉢物	数量(千本)	8	8	11	12	16	8	3	1	3	8	7	5	90	93
	前年比(%)	160.0%	80.0%	100.0%	80.0%	114.3%	100.0%	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	83.3%	96.8%	
	金額(千円)	3,405	3,861	5,321	5,623	7,555	3,595	4,015	1,440	3,314	4,479	4,496	4,490	51,594	53,000
	前年比(%)	123.1%	85.2%	97.0%	84.4%	101.6%	92.7%	121.8%	67.0%	112.5%	95.6%	98.9%	97.2%	97.3%	
その他 (枝物、観葉植物、 苗木、植木、加工品、 その他)	数量(千本)	23	148	63	123	177	79	28	18	28	46	35	85	853	863
	前年比(%)	62.2%	146.5%	81.8%	113.9%	112.7%	111.3%	77.8%	72.0%	71.8%	86.8%	85.4%	72.0%	98.8%	
	金額(千円)	2,363	5,454	4,468	10,037	12,862	6,621	3,085	1,980	3,323	5,377	3,885	10,700	70,155	72,992
	前年比(%)	99.8%	114.3%	116.0%	104.1%	104.9%	103.2%	85.6%	73.7%	89.1%	92.4%	90.6%	78.9%	96.1%	
合計	数量(千本)	526	744	1,340	839	869	730	659	1,192	931	616	520	1,022	9,988	10,783
	前年比(%)	81.9%	95.4%	94.3%	93.5%	89.9%	100.7%	80.9%	98.4%	91.8%	94.3%	86.5%	96.7%	92.6%	
	金額(千円)	66,009	71,453	131,717	72,441	74,791	63,119	62,547	116,570	96,040	68,801	62,692	117,826	1,004,006	1,081,925
	前年比(%)	111.0%	101.4%	97.4%	89.0%	78.7%	102.3%	84.3%	92.6%	91.1%	93.1%	87.5%	92.4%	92.8%	

3. 入荷及び価格の状況

〔切花〕 切花全体では、1月から12月までの前年比は取扱量で8.0%減、取扱金額で7.7%減となった。

1月は成人式があり全国的に高値で推移した。2月は全国的に流通量が少なく、高値で推移し輸入品が増えた。3月は春彼岸で一般的に前半は引き合いも良く高値で推移したが、中旬より天候不順により本数が伸び悩んだ。4月は国産のバラの出荷量が増え、輸入品は少なくなった。5月は国産のカーネーションの生育は順調であったが母の日での引き合いは弱く、6月に県南からの出荷が始まると好評であった。8月のお盆需要は前年並みであり、菊類は暑さの影響から開花遅延など生育に障害が多く入荷量が減少した。9月の秋彼岸は、高温障害による品質の低下から全般的に安値傾向であった。10月は夏の高温により成長が遅く、国産カーネーションは例年より入荷が少なかった。11月は全般的に寒気の影響から開花が遅れ、月を通して不安定な入荷となった。

〔鉢物〕 鉢物全体では、1月から12月までの前年比は取扱量で3.2%減、取扱金額は2.7%減となった。

1月、2月は大きめの胡蝶蘭の動きが良く小さめのミディ系は落ち着いていた。3月は卒業式向けのサイネリア、ポリアンの動きが強かった。4月は県産苗木の入荷が増えたが引き合いが弱く単価安となった。胡蝶蘭は5月は安定した入荷で取引されたが6月になると動きは鈍く、9月になると暑さの影響から花落ち枯れなど品質が安定しなかった。全般的に6月から9月は高温の影響から、品質が安定せず規格外の品も多くなった。10月はシクラメンと葉ボタンの入荷が始まったが、入荷はやや少なく、引き合いも弱かった。11月はシクラメンと葉ボタンの出荷が本格的になったが、引き合いは弱かった。